8/13

昭和三十五年 四月十三日(木)

毎日新聞掲載記事

浮島丸から死体引揚げ

【舞鶴】敗戦直後の昭和二十年八月二十四日午後四時大湊元海軍工しように徴用されていた韓国人工員およびその家族など数千を乗せ帰国のため釜山に向う途中舞鶴湾佐波賀沖で触雷、船体が真二つになって沈没した元海軍徴用船浮島丸(四、七三〇トー大阪商船所属)は五年ぶりに飯野サルヴェージによって引揚作業中で、先月十八日以来十二日までに死体五十八体を引揚げ安置したが、なお続々引揚げ中で完了までに数カ月を要する

死体は百体を一組とし舞鶴地方復員局残務整理部を経て呉地方復員局に移し、そこから戦国に丁重に送る

吳地方復員殘務處理部